

地域連携 だより

彦根市立病院
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL : 0749-22-6050(代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093

いつもありがとうございます

はじめまして！
がん薬物療法専門医です。
～湖東・湖北医療圏で『初』～

消化器内科 医長
がん薬物療法専門医

たけじ さとる
竹治 智



「がん」は、およそ2人に1人が罹患すると推計される身近な疾患ですが、本邦における死因の第1位であり、死を連想させ、平穏な生活を急転させる怖い疾患でしょう。それだけに、「がん」と診断された患者さんやそのご家族が、日常生活に大きな変化を来すことなく、また、医療に対する不安を抱くことなく過ごしていただけることが重要です。

そこで、当院では、最新の標準治療(がん薬物療法)を提供します。一方、都市部のがん専門病院や大学病院での治療を希望される患者さんには、必要時にはいつでも当院で治療を受けていただけることをご説明の上、ご紹介させていただきます。がん専門病院等の治療方針に沿ったがん薬物療法や副作用に対する支持療法の提供により、患者さんの都市部への通院の負担を大幅に軽減できると考えます。

また、がん患者さんは、急な発熱、呼吸苦、痛みなど様々な症状が出現します。こうした異常時に対応できるがん救急や緩和ケアの体制は、地域のがん医療において不可欠ですが、その実現は容易ではありません。幸いにも当院は、断らない救急医療を既に実践しており、緩和ケアの体制も整備しています。

このように、当院では地域の方々にな不安なくがん医療を受けていただくための環境作りを進めています。がん薬物療法については、原発臓器に関わらずご紹介いただければ、関連する診療科の医師、がん薬物療法に関する認定看護師や認定薬剤師、医療ソーシャルワーカーらと連携し、最良のがん医療を提供できるよう努めます。患者さんのご紹介をよろしくお願いいたします。

◆ がん薬物療法

がん薬物療法は、がん細胞の増殖を防ぐ「抗がん剤」を用いた治療法です。手術（外科治療）、放射線治療とともにがんの三大治療の一つで、体の広い範囲に治療効果が及ぶことが期待できる全身療法です。従来のがん薬物療法は、化学物質によってがんの増殖を抑え、がん細胞を破壊する治療である「化学療法」や、がん細胞の増殖にかかわるホルモンを調節して、がん細胞がふるえるのを抑えるホルモン剤を用いた「ホルモン療法（内分泌療法）」が中心でした。

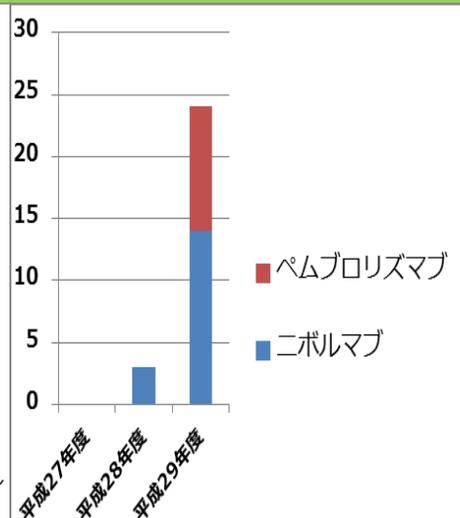
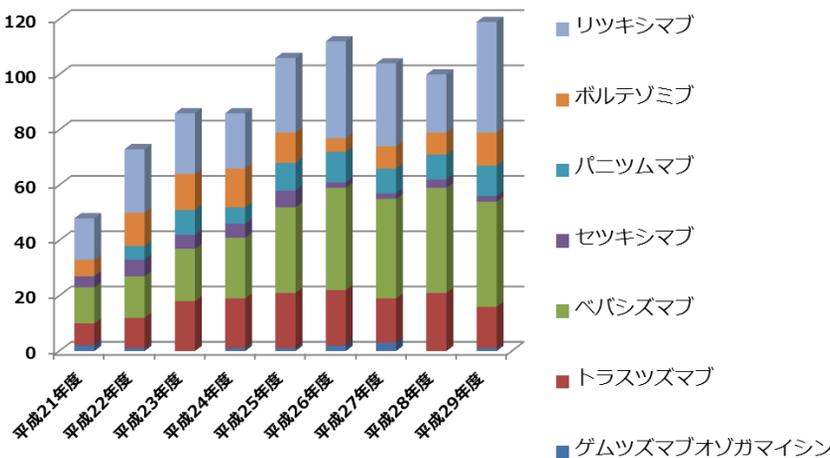
◆ 分子標的治療・免疫療法

近年、がん細胞だけが持つ特徴を分子レベルでとらえ、それを標的にした「分子標的治療」や、免疫にブレーキをかける免疫チェックポイント機構を阻害すること等により、ヒトの免疫本来の力を回復させてがんを治療する「免疫療法」により、治療効果が飛躍的に改善しています。そして、従来化学療法と分子標的治療や免疫療法との併用によって、更に治療効果の改善が示されつつあります。

分子標的治療は、がん遺伝子を解析し、その変異の特徴に基づいて薬剤が選択されます。また、免疫療法の一つである免疫チェックポイント阻害薬は、高頻度マイクロサテライト不安定性（MSI-H）またはミスマッチ修復機構の欠損（deficient mismatch repair: dMMR）の遺伝子変異をもつ固形がんに対し、原発部位を問わず治療効果が示されています。臓器を限定せずに、がん患者のゲノム（全遺伝情報）を網羅的に調べ、その結果をもとにして、より効率的・効果的に個別化したがん治療を行う「ゲノム医療」が、今後のがん薬物療法の方向性と思われます。

◆ぜひご紹介をお願いします

当院でも様々ながん種に対し、分子標的治療や免疫チェックポイント阻害薬を用いた治療を行っています。今後もこれらの薬剤の副作用を管理しつつ、適切に標準治療を提供して参ります。



(a) 分子標的薬(注射薬)

(b) 免疫チェックポイント阻害薬

当院における(a)分子標的薬(注射薬)、及び、(b)免疫チェックポイント阻害薬の投与患者数

通院治療センターで安心して がん治療を受けていただくために

彦根市立病院では、住みなれた地域で日常生活を送りながら、通院でがん化学療法を安心して受けていただくために「通院治療センター」を開設しております。場所は最上階の8階に位置しており、窓から見える景色は犬上川と四季折々の田園風景で、ゆったりと治療を受けていただくことができる空間となっています。

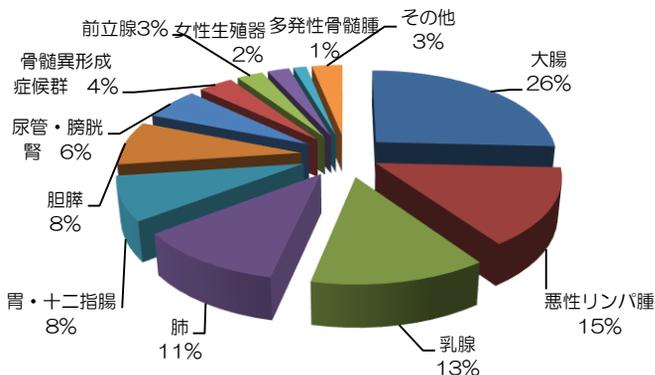
さまざまな悪性腫瘍に対して、最新の治療を提供させていただきます。

当センターを利用する患者さんは年々増加傾向で、昨年度の総件数は10年前に比べると約2.5倍となる年間約2,800件の治療を担当させていただきました。

近年、様々な作用機序を有する薬剤が登場していますが、当院には4月より**湖東・湖北医療圏で唯一のがん薬物療法専門医**が着任しており、**エビデンスに基づいた標準治療を安全に提供**しています。

免疫チェックポイント阻害薬（ICI）を用いた治療も積極的に行っています。診療科や職種の垣根を超えた多職種でICI支持療法チームを結成し、統一したマニュアルの作成と有害事象対策に取り組んでいます。

平成29年度疾患（部位）別患者数の割合 n=221



多職種によるチーム医療で、あらゆる患者さんのニーズに対応させていただきます。

当院では治療的側面だけではなく、全人的苦痛に目を向け、患者さんの立場に立った視点でカンサーボード（多職種がんカンファレンス）を定期的を開催しています。

地域のみなさまが、住みなれた自宅から近距離の当院に安心して通院していただけるように、スタッフ一丸となり尽力してまいります。

どしどし、ご紹介をよろしくお願いいたします！



リラックスできる治療環境



ある日のカンサーボード
患者背景に視点を置いて語り合います

😊 患者さんの声 😊

- 副作用が出た時も、家から近い病院ですぐ診てもらえるので安心して抗がん剤治療を受けられる（70歳台男性）
- 他の病院に比べてアットホームな雰囲気なのでホッと（60歳台男性）
- 良い時も悪い時も寄り添ってもらえるので、気持ちが安らぐ（50歳台女性）

がんは働きながら治療する時代へ 彦根市立病院は支援します！

日本では、生涯のうち2人に1人ががんにかかり、そのうち3人に1人は就労が可能な年齢です。そして、がんを治療しながら働きたいと考えている患者さんが増えつつあります。だからこそ、家族が、勤め先の企業が、地域が、そしてもちろん医療機関が一体となって、「働きながら」「育児しながら」「趣味や生きがいを持ちながら」がんと共に働ける、生きがいを持って暮らせるよう、患者さんをサポートします。

私は、2年前に管理職になり、仕事をばりばりしようと思っていた矢先のがんが見つかり手術をしました。今は抗がん剤治療の点滴に通っています。子供が中学生で、仕事と治療の両立のために、職場に近いこの病院に通い、午前中治療をして、午後から仕事に行けています。職場の上司の理解もあり、治療しながら仕事ができています。



40代男性

治療と仕事の両立...就労相談

当院は、地域がん診療連携拠点病院として、がん相談支援センターがあり、がん専門相談員である認定看護師や医療ソーシャルワーカーが相談について支援しています。

昨年の相談件数は317件、相談内容は、症状・副作用、緩和ケア、精神的不安が多くありました。

働く世代が、がんに罹患したとき、必ずと言っていいほど直面するのが「これから仕事をどうするか」という就労の問題です。

「がん患者・がん経験者の就労支援」とは、がん患者さんが社会とつながりを持ちながら仕事を続けていけるよう、あるいは一度退職しても再就職できるよう支援していくことです。

◆がん相談内容の一つ！就労相談

病気と労務管理に詳しい滋賀産業保健総合支援センターの両立支援促進員ががん専門相談員と協力して、相談を受けています。

- 仕事を続けるためにやらなければならないことは？
- 会社や主治医とはどのようにやりとりすればいいの？
- 会社に一緒に行って、病気や治療のことを説明して欲しい
- 治療しながら働けるよう会社の上司と一緒に考えてほしい

相談をご希望の方は、彦根市立病院がん相談支援センターへご連絡ください。 TEL：0749-22-6050

